



著者(昭和12年・71歳)

解説・年譜

津曲裕次

(長崎純心大学教授)

生江孝之著作集

全6巻

〈学術著作集ライブラリー〉

Namae Takayuki

◎「日本社会事業の父」と称される生江孝之は、
明治から昭和戦後期に及ぶ九一年の生涯を
社会事業と共に歩んだ。その初の著作集!!

なまえ たかゆき

限定
100セット

発行 学術出版会
発売 日本図書センター

特色

- ① 生江孝之は『日本社会事業の父』といわれ、明治・大正・昭和戦前戦後期の九一年の生涯を、社会事業と共に歩んだ。その初めての著作集である。
② 膨大な著作物の中から、内外視察の成果『欧米視察細民と救済』『自治経営美談』『泰西に於ける自治民育美談』『新らしき国新西蘭と濠洲』、社会事業理論編『社会事業綱要』、詳細な年譜・著作目録・論集でもある『生江孝之君古稀記念』の六点を収録した。
③ 第6巻巻末に、生江孝之の後継者一番ヶ瀬康子に連なる津曲裕次（長崎純心大学教授・筑波大学名誉教授）の解説・略年譜を付す。

各巻主要目次

第1巻 欧米細民と救済

緒論 第一編 泰西細民の窮乏の状況 第一章 米国の細民窮 第二章 英国の細民窮 第三章 貧困の原因及細民調査 第四章 細民と救済 第五章 浮浪徒 第二編 各国救済制度 第一章 英国の救済法 第二章 米国の救済法 第三章 独逸の救済法 第四章 仏国の救済法 第五章 我国の救済法 第六章 救済事業の趨勢 第七章 救済事業 第八章 禁酒事業 第九章 業務紹介所の経営 第十章 低利質屋の経営 第十一章 法律顧問所の設備 第十二章 住宅改良事業 第十三章 公設浴場と洗濯場 第十四章 大学移殖事業 第十五章 浮浪徒救済事業 第十六章 図書館の普及 第十七章 中央慈善協会の設備 第十八章 田園都市の経営

第2巻 自治経営美談

緒論 都市の膨張と地方の疲弊 農村の将来に対する悲観説と楽観説 優良町村と協同組織 自治体の補助機関と地方の先覚者 農村復興の実際 当局者の指導啓蒙 第一章 自治当局者と経営美談 所謂優良町村 優良村敷地村 優良村立子山村 第二章 篤志家と経営美談 所謂篤志家なる者 故大槻七兵衛 故新渡戸伝翁 故伊藤正作 志波六郎助翁 小関忠平翁 古橋源蔵翁 第三章 宗教家と経営美談 宗教家の使命 僧行基 僧空海 鉄牛神師 ウイリアムス 第四章 教育家と経営美談 教育家の使命 南崎兼左衛門氏 武田訓導の長逝と村民の同情 第五章 青年会と地方開発 青年団の勃興 優良青年団の選奨 片岡青年会 和田村青年会 大野青年会 史蹟に富むる大和 松原協同会 海外に於ける青年会 第六章 富豪並に華族と経営美談 富豪と社会改良 大原孫三郎氏 蟹江史郎氏 城沈氏 華族と地方開発 立花伯爵 松平侯爵 堀田伯爵 付録 継体天皇勸農の詔 文徳天皇勸農の詔 徳川家光と農民の心得 松浦宗安の勸農の詞

第3巻 泰西に於ける自治民育美談

第一章 農村振興と開発美談 工業の発達と農村の疲弊 蒸気機関の発明と其農村に及ぼせる影響 ゼームスヒルの農村救済論 農村復興の機運 英国 白耳義 独逸 仏蘭西 第二章 田園都市の創設及其趨勢 文明に伴ふ都市の半面 特に英国に著しき傾向 悲惨なる細民の生活 我邦に於ける細民一般 田園都市の嚆矢 建築に対する無比の恩恵 ハワードの為人 菜食に悩まざる夏期学校 娯楽機関の完備 婦人の経営に成る田園都市 貧民の為に建設せる美術博覧会 ハムステッドの田園都市 貧民改善事業 独逸に於ける田園都市 酒舗の代りに娯楽機関 自然趣味の鼓吹 居は氣を移す 第三章 新興国としての丁抹 其位置と気温と人口 歴史的回顧 国民教育 素朴なる青年の掌 青年の強弱は国家の強弱 産業組合の制度 丁抹の生命は農家の副業に在り 鶏卵組合 検査煩る厳なり 輸出一千万円 此好商あるを如何 鯨の子蛙と変す 副業より生ずる輸出額 我国産業組合の現況 独逸に於ける小農保護制度 周到なる丁抹の小農保護 第四章 自治当局者と経営美談 自治概論 名市長チャンパレン 第五章 泰西に於ける青年会 国家に於ける青年の地位 彼我青年会の特色 海外に於ける青年団の紀元 最も盛大なる米國青年会 人類の相愛を目的とす ウイリアムスの水眠 最近の事業統計 我邦の基督教青年会 聖ポール寺院の三偉人 想起すルン将軍の偉 第六章 少年義勇団の勃興 形式に陥り易き青年訓練機関 貞 起源 各国概況 綱領及組織 組織と進級試験 第七章 育英事業の施設並美談 篤志育英事業の勃興 初等教育の機関に統一を欠く 人物の訓練に重きを置く エートン学院の創設 入学試験 絶大の權威を賦与せられたる院長 特色とも称すべき師伝制度 塾制度に彷彿たる学僕主義 崇厳なる礼拝堂と教堂 思ひ出多きメンチ、テーパー 偉人名流の遺墨尚鮮かに存す エートン学院と其の成績 育英事業と奨励金 第八章 富豪と地方開発 チャールレス、クリントン、ノーベル基金、チャード学院、カーネギー翁と其誕生地 第九章 篤志家と経営美談 クルップ会社、ヨーク近郊の模範工場 労働会社と女工 篤志企業家 付録 英国皇太后陛下の御御徳 白耳義の国情

第4巻 社会事業綱要

序 第一編 総論 第一章 社会事業とは何ぞや 社会事業と社会政策との関係 社会事業の意義及対象 第二章 貧 自然貧 個人貧 慈善行為及事業の発生 個人貧と社会貧 社会貧と社会連帯責任及社会奉仕の觀念 社会事業の発生 第三章 我邦に於ける社会事業 我邦社会事業の沿革 皇室の御統緒 社会大戦の影響 社会大戦の觀念 養老院の設置 社会事業の分類 憂慮すべき現象 第二編 各論 第一章 救済事業 貧民と窮民との區別 貧窮の原因 窮民処遇の方法 我国の委員制度 老若者保護 第二章 医療的保護事業 医療的保護の沿革 病院内の福利事業 担架自動車 我邦診療事業 実費診療事業 看護婦事業の社会化 結核患者の治療及び予防 第三章 経済的保護事業 経済的保護事業の意義並内容 失業問題 職業紹介事業 住宅供給事業 公益質屋業 第四章 社会教化事業 社会教化の内容 隣保事業 学校を中心とする文化運動 教会を中心とする文化運動 地方改善事業 婦人救済事業 禁酒事業 社会教育と活動写真 第五章 児童保護事業 児童保護の根本觀念 児童保護事業の沿革及対象 普通児童保護事業 特殊児童保護施設 第六章 社会事業連絡機関 社会事業連絡機関の沿革 社会事業協会 商業会議所と社会事業との関係 社会事業共同募金と其の効果 米國社会事業大会

第5巻 新らしき国新西蘭と濠洲

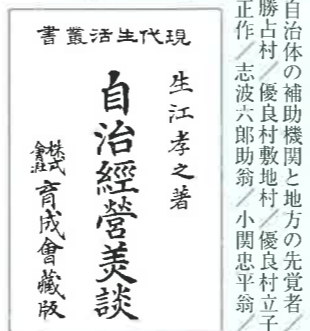
序に代へて 凡例 紀行 新西蘭篇 世界の理想郷 ニュージーランド 沿革と先住民民族マオリ人 ニュージーランドの人々 恵まれたるニュージーランドの産業と資源 行きたといた社会政策 世界の理想郷 ニュージーランドに於ける労働事情 政治と国家の構成 マオリ人と土地政策 移民に対する土地政策 産業調停及び仲裁法 労働争議調査法 基本賃銀 工場法 商店及び会社法 移民問題 社会施設より見たるニュージーランド 社会生活 労働者住宅法 保健衛生施設 国民予備基金と官営保険事業 養老年金法 勸業の国の暗影 酒精問題 司法保護について ニュージーランドに於ける児童保護 乳児死亡率の驚くべき減少 初生児の死亡状態 トルビビ キング博士と新西蘭母子保健協会 看護婦の養成 産婆と産院 及び妊産婦相談所 母乳奨励運動 母子保健協会の素晴らしい功績 乳幼児保護法と母子扶助法 特殊児童の保護 ニュージーランドに於ける宗教と教育 宗教状態 学校教育 徒弟保護 権実施州 産児制限問題 ニュージーランド婦人の猛省を促す 豪州篇 豪州に於ける最初の婦情 豪州に於ける労働状態と社会立法 豪州に於ける賃銀制度 豪州に於ける移民問題と白豪主義 豪州に於ける医療保護施設 豪州に於ける児童保護 豪州に於ける徒弟制度と其の教育 状態 豪州に於ける宗教状態 豪州に於ける交通機関 豪州に於ける兄弟制度と其の教育 其の復讐 ニュー・サウス・ウェールズ州に於ける家庭扶助法案 参考書目録

第6巻 生江孝之君古稀記念 付解説・略年譜

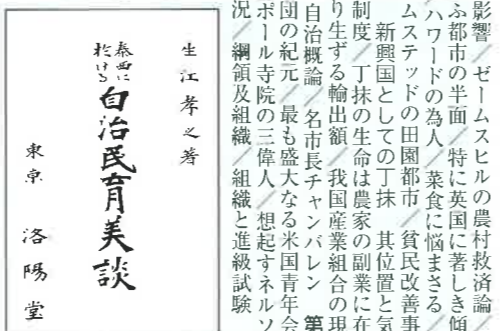
論叢 慈善局設置の必要 恤救規則の改正に関する考察 傷害救護機関急設の必要 民衆娯楽問題 社会事業の政策化への新展望 社会事業の統制に関する一考察 私立社会事業の社会的使命 社会事業に於ける「人」と「組織」 社会に於ける育英事業の地位 保育所の社会的意義 保護所の使命と小児保健所に対する希望 収容保護に於ける小家族分立主義に就いて 義務教育年限延長に伴ふ二三の重要問題 日本農村の特異性を検討して満州移民問題に及ぶ 麻薬中毒者救護問題 我が国に於ける感化院の起源及び感化の語原に就いて 避妊公許の和蘭 産児制限問題私見 チャールスマ博士の追想 ラウントリイ氏と其の事業 文芸復興以後に於ける慈善事業の変革に関する一考察 中世紀の基督教と慈善事業 年譜及小伝 著作目録(年次別) 著作目録(種類別) 付解説・略年譜(津曲裕次)



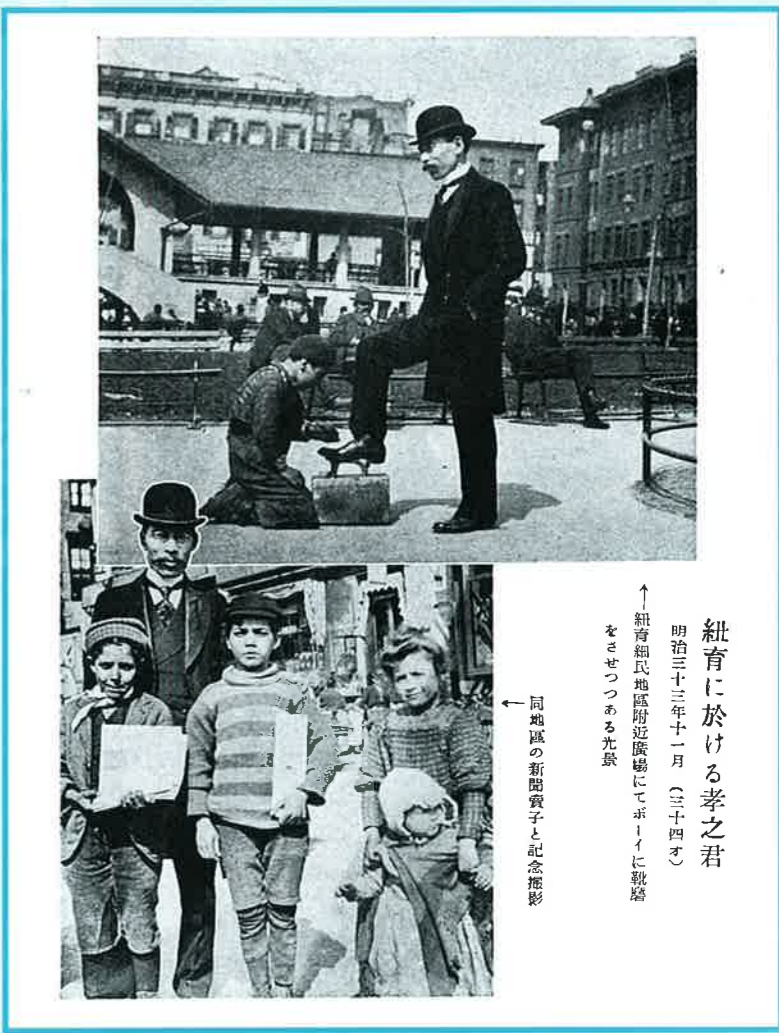
欧米細民と救済 生江孝之著 文芸春秋社



自治経営美談 生江孝之著 文芸春秋社



泰西に於ける自治民育美談 生江孝之著 文芸春秋社



紐育に於ける孝之君 明治三十三年十一月(二十四日) 紐育細民地帯近隣に於てボーイに靴磨をせせつつある光景 同地区の新聞費子と記念撮影 (生江孝之君古稀記念) 口絵より

略歴

- 一八六七年(慶応三) 一月二日、仙台市に誕生。
一八八三年(明治一六) 宮城中学校に入學。
一八八六年(一八九) ビショップ・ハリスにより家族全員受洗(日本メソジスト)。宮城中学校卒業。上京。夏東京英和學校(現・青山学院) 高等科入學。
一八九〇年(一一二二) 東京英和學校高等科二年中退。山口県でメソジスト教士としてシウ師の通訳となり、自らも伝道に従事。
一八九三年(一一二六) 北海道(上川) 赴任。
一八九四年(一一二七) 北海道樺戸教会に赴任、監獄教誨師となる。
一八九六年(一一二九) 一月一日、青山学院神学部入學、山室軍平と會う。
一八九九年(一一三三) 青山学院神学部を卒業、青山教会副牧師に任命される。
一九〇〇年(一一三三) 四月、第一回外遊に出発(サンフランシスコ、ニューヨーク、シカゴ等視察)。
一九〇一年(一一三四) ニューヨーク日本人ミッション創設、主事。首府ワシントンでの第一八回全米慈善普及感化事業大会出席。
一九〇二年(一一三五) 五月、父元善、長兄死去。八月、ボストン大学大学院に入學。
一九〇三年(一一三六) 留學幸助の訪歐に同行し、英国(グラスゴウ市他) 訪問。
一九〇四年(一一三七) 二月、帰國。神戸市外事係長となる。神戸市奉公会、神戸市婦人奉公会幹事。
一九〇五年(一一三八) 羽田武三氏長女繁子と結婚、三男子を儲ける。神戸市奉公会等解散、戦後記念保育會常務理事。
一九〇八年(一一四二) 二回目の海外調査旅行(イギリス、ドイツ、デンマーク訪問)。
一九〇九年(一一四二) 二月、帰國。五月、内務省嘱託、地方局慈善救済事業事務取扱、参事。
一九一一年(一一四四) 恩賜財団済生会設立、参事。
一九一五年(大正四) 東京宗教大学(現・大正大学) 講師(社会事業講座)。
一九一八年(一一七七) 日本女子大学校、日本大学、警察講習所講師。第三回外遊(ワシントン・全米児童保護事業大会出席)。
一九一九年(一一七八) 内務省社会局設置、嘱託就任。
一九二二年(一一八一) 病のため、内務省社会局嘱託を辞す。
一九二三年(一一八二) 第四回目の外遊(オーストラリア、ニュージーランド)。
一九二九年(昭和四) 外務省文化事業部の委嘱を受け、中華民國・朝鮮を視察。
一九三二年(一六) ハワイ訪問(第二回基督教青年会少年国際キャンプ顧問)。
一九三六年(一一) 「古稀記念祝賀會」開催。
一九三七年(昭和一二) 八月一日、死去。

第一編 泰西細民の状況

第一章 米國の細民窮

紐育市に於ける細民窮の状況を示すに當り先づ其の同市繁榮の概況を述べ以て之に之れが對照を示さうと思ふのである紐育市即ち今日一般に大紐育と呼んで居る個體は西曆千九百十年の調査に依れば四百七十六萬八千餘の人口を有して居る大都會であるがそれ以外から毎日同市に通勤する百萬の人口を加へれば當に五百七十萬に達する又同市の面積は長さ三十三哩幅十八哩で其の中に約五倍といふものがあつて、今それをマアハットン公園と稱して居るそれは何れも何れも約四百年前同市を築き六百二十六年に僅か四十八回で買入れたと云ふものである然るに其の地

生江孝之著作集 (全6巻)

■定価 本体90,000円+税

2014年9月刊行

■解説・略年譜 津曲裕次 (長崎純心大学教授)

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,840頁

ISBN978-4-284-10420-3

■収録内容

第1巻 欧米視察 細民と救済 (博文館 1912年)

第5巻 新らしき国新西蘭と濠洲 (新生堂 1929年)

第2巻 自治経営美談 (育成会 1914年)

第6巻 生江孝之君古稀記念 (同記念会 1938年)

第3巻 泰西に於ける 自治民育美談 (洛陽堂 1915年)

付 解説・略年譜

第4巻 社会事業綱要 (巖松堂 1923年)

おすすめ先 大学・公共図書館 / 社会福祉・社会事業(史)の研究者 / 近現代史研究者など

〈学術著作集ライブラリー〉続刊予定 (順不同)

春山作樹、木村素衛、小泉郁子、小西重直、青木誠四郎、奥むめお、蛸山政道ほか

好評既刊

三木安正著作集 全7巻

■定価 本体86,000円+税
ISBN978-4-284-10146-2

■体裁 A5判、上製、総約2,350頁

■解説・略年譜・著作目録 津曲裕次
(長崎純心大学教授)

■収録内容

- 第1巻 幼児の心理と教育 / 私の幼児教育論
- 第2巻 精神遅滞児の教育 / 特殊教育
- 第3巻 精神薄弱教育の研究 分冊Ⅰ
- 第4巻 精神薄弱教育の研究 分冊Ⅱ
- 第5巻 特殊教育
- 第6巻 私の精神薄弱者教育論
- 第7巻 残されている夢
解説・略年譜・著作目録



久布白落実著作集 全6巻

■定価 本体84,000円+税
ISBN978-4-284-10200-1

■体裁 A5判、上製、総約2,500頁

■解説 高橋喜久江 (日本キリスト教婦人矯風会・売買春問題ととりくむ会)

■収録内容

- 第1巻 父
- 第2巻 女は歩く
- 第3巻 婦人参政権関連論文 / 矯風問題 / 新日本の建設と婦人
- 第4巻 父と良人
- 第5巻 純潔教育はなぜ必要か / 五十年の歩みと五十日の旅 / 日日の食物
- 第6巻 廃娼ひとすじ
解説



山田わか著作集 全6巻

■定価 本体68,000円+税
ISBN978-4-284-00081-9

■体裁 A5判、上製、総約2,300頁

■解説・年譜 林千代 (前文京学院大学教授)

■収録内容

- 第1巻 女、人、母
- 第2巻 恋愛の社会的意義
- 第3巻 愛と生活と
- 第4巻 社会に頼づく女
- 第5巻 現代婦人の思想とその生活
- 第6巻 新編女性読本 解説・年譜



山高しげり著作集 全5巻

■定価 本体56,000円+税
ISBN978-4-284-00075-8

■体裁 A5判、上製、総約1,770頁

■解説・年譜 八木博子 (山高しげり元秘書)

■収録内容

- 第1巻 婦人問題の知識
- 第2巻 女性の建設
- 第3巻 山鶯 随想集
- 第4巻 母子福祉四十年
- 第5巻 婦人運動 おりおり草 正・続・続々
解説・年譜



〈発行〉

学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157
http://www.gaku-jutsu.co.jp
E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774
http://www.nihontosho.co.jp

取扱書店